

家 庭

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
家庭総合	2単位	1年	農・普科

教科書	未来へつなぐ家庭総合365 (教育図書)	副教材	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)
-----	-------------------------	-----	-----------------------------

科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。
-------	--

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 第4章 高齢者の生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期・高齢期の特徴、家庭の機能と家族関係、家族に関する法律、家庭生活と福祉などについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の自立、家族・家庭、高齢者の生活について問題を見だし、解決策について構想し、考察したことを根拠に論理的に表現しようとしている。
2 学期	B編 第2章 衣生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣生活に関する知識や被服製作における技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に衣生活を営むことができるよう問題を見だし、解決策を論理的に表現しようとしている。
3 学期	C編 第1章 生活における経済の計画 第2章 消費生活と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家計や消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や消費の重要性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し、表現しようとしている。
<p>1 自分らしい、充実した人生をつくるために、問題解決的に主体的に学びましょう。</p> <p>2 実験・実習を通して理論を正確に学んだり、技術を身につけたりすることが大切です。</p> <p>3 学習内容を自分の生活に応用・発展させるように心掛けましょう。</p>			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活環境などについて科学的に理解するとともにそれに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。
②	思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。
③	主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に主体的に取り組み、自分や家族、地域の生活の充実向上を図っている。
定期考査	1 学期期末 2 学期期末 学年末 (計3回)	
評価方法 (観点番号)	以下を総合的に評価する。 ① 知識・技能 (定期考査、被服実習、製作活動) ② 思考・判断・表現 (定期考査、家庭科ノート、意見発表) ③ 主体的に学習に取り組む態度 (授業・実習態度、グループワーク)	

